

# 音楽学部

教養部会教授 中河 豊

## 1. 研究活動

a 演奏会・展覧会・競技会等の名称・著書・論文・作品等の名称（項目ごとに記入する）	b 発表または発行の年月日	c 演奏会・展覧会の会場・主催等または論文等の発行所・発表雑誌等の名称	d 発表・展示・作品等の内容等・論文概要等（共著の場合のみ編者・著者名を記入）
論文			
「人間の成熟をめぐって」	2011. 2	名古屋哲学研究会機関誌『哲学と現代』26号、2-5頁。	今日状況において人間の成熟の問題を取りあげ、これの哲学的把握について問題提起した。
研究発表			
『人間の成熟をめぐって』	2010. 6. 27	名古屋哲学研究会シンポジウム「人間の成熟をめぐって」。	シンポジウムでのテーマに関して問題定期的に報告した。
「啓示宗教と啓蒙 想像力の問題性」	2010. 10. 2	中部哲学会個人研究発表、名古屋文理大学。	カントの『判断力批判』とフィヒテの『あらゆる啓示の批判の試み』を検討し、これがヘーゲルの『ドイツ観念論最古の体系構想』の感性的宗教の叙述に関連していることを指摘した。
「AESTHETICS AS A SIGNIFICANT AREA OF HUMAN DEVELOPMENT From the Context of the German Idealism」	2010. 9. 1	ノルウェー、ベルゲン市、グリーグ・アカデミー、音楽療法士の研究会。	音楽療法における美学の議論のために、カント『判断力批判』の美的判断力の議論を紹介、検討した。特に美的判断の普遍的伝達可能性に焦点を当てた。
「My encounter with music therapy in Japanese situations」	2010. 9. 2	ノルウェー、ベルゲン大学。	ベルゲン大学の音楽療法関係者（学生を含む）に日本における音楽の展開と音楽療法の状況を個人の体験に即して講義した。

## 2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

f 教育内容・方法の工夫および作成した教材・資料等	g その他教育活動上特筆すべき事項	
授業科目 倫理学		
<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要		教材・資料等の概要
社会的諸問題を取りあげ、これについて理論的概念的に学生が考えるように工夫した。パワーポイントで資料を作成し、学生の理解に役立てた。		情報、貧困と格差、戦争と平和についてとりあげた。
授業科目 哲学		
<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要		教材・資料等の概要
哲学的アプローチを用いて、哲学的思考について説明した。学生の理解を図るために、抽象的な議論を避け、パスカルとニーチェという文学的表現様式を採用した哲学者を取りあげた。		パスカルの『パンセ』とニーチェの一連の作品を取りあげた。

授業科目 音楽療法概論	
<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
音楽療法のさまざまなモデルについて紹介、解説した。とくに、新しい流れとしてのコミュニティ音楽療法を重点として取りあげた。	

### 3. 学会等および社会における主な活動

h 学会等の名称	i 活動期間	j 活動概要その他
日本哲学会		会員
日本ヘーゲル学会		会員
日本フィヒテ協会		会員
中部哲学会		会員
名古屋大学哲学会		会員
名古屋哲学研究会		機関誌『哲学と現代』編集委員、運営委員。
唯物論研究協会		会員